

なごや 市民活動通信

2024
1・2月号
No.109
無料

発行：名古屋市市民活動推進センター

INDEX

特集①ポストコロナを見据えた伴走支援の事例を紹介します！
特集②ボランティア入門講座のゲストトークを紹介します！

センターニュース

第37期 災害ボランティアコーディネーター養成講座 実施報告

災害時に全国から集まるボランティアの受付・整理を行い、被災者のニーズを把握して、ボランティアと結びつける役割を担う「災害ボランティアコーディネーター」を養成する講座が、9月24日(日)、30日(土)、10月7日(土)の3日間、開催されました。

名古屋大学名誉教授、福和伸夫氏による講義、災害ボランティアセンターの受付模擬演習、東日本大震災の被災者の方のお話、令和4年8月の大雨で被災した石川県小松市の方と、実際に現地でも支援活動を行った方のお話など、盛りだくさんの内容でした。

最終日には、市内で実際に活動している、2つの災害ボランティア団体から、訓練や防災講座、啓発活動など、日ごろの活動についての案内のほか、「会社のつながりなどでは難しい、利害関係のない志を共にする仲間ができることが醍醐味」などとお話がありました。

57名の方に受講していただき、名古屋の災害ボランティアのネットワークがさらに広がりました。



昨年度受講者の声 (アンケートより)

- 講義、グループワークとも内容が濃く勉強になりました。グループワークを通して、座学では気づかない点に目が向けられてよかったです。
- 災害現場で見た、感じた生の声を知ることが出来てとても勉強になりました。
- 災害が来た時のことばかり考えていましたが、災害が来る前にもっと多くの人に災害について知らせることが大事なんだなと思いました。

第38期 災害ボランティアコーディネーター養成講座

- 日程：2月3日(土)、2月10日(土)、2月11日(日・祝) (全3日間)
- 定員：50名(応募者多数の場合は抽選になります) ● 参加費：無料
- 対象：名古屋市内在住、在勤または在学の中学生以上の方で3日間を通して受講可能な方
- 会場：真宗大谷派名古屋別院(東別院) (中区橋2-8-55) (2月3日)
名古屋市市民活動推進センター(2月10日、11日)
- 募集締切：1月12日(金) 必着
- 応募方法：申込フォームにてお申込みいただくか、往復はがき又は電子メールに、
①住所 ②氏名 ③電話番号 ④学校名または勤務先(市外在住の方のみ)
⑤年齢 ⑥メールアドレスを記入し、お申し込みください
住所：中区栄三丁目18-1 ナディアパークデザインセンタービル6階
名古屋市市民活動推進センター 宛
電子メール：npo@sportsshimin.city.nagoya.lg.jp

第38期災害ボランティア
コーディネーター養成講座
申込フォーム

<https://logoform.jp/form/mX9C/421056>



なごや災害ボランティア
コーディネーター養成講座
についてはこちら

https://www.n-vnpo.city.nagoya.jp/project/saigaivc_youseitekouza/



特集①

ポストコロナを見据えた伴走支援の事例を紹介します!

新型コロナウイルス感染症の拡大により、多くの市民活動団体が活動や事業の一部停止や資金収入の減少など大きな影響を受けました。市民活動推進センターでは、コロナ禍で困っている団体を募集し、ポストコロナにおいても事業の継続・発展が見込めるよう、各団体の抱える課題に応じて、その分野の専門家と一緒に課題を整理・分析し、解決に向けて伴走支援する事業を行ってきました。令和4年度に伴走支援を行った2つの事例を紹介します。

●事例①：資料やデータをクラウドに移行したい

【課題】 本部と複数の事業所があり、資料やデータはそれぞれの事業所がUSBメモリに保管していました。クラウド化も試みたことはあるようですができませんでした。セキュリティ面にも大きな課題がありました。

【支援】 ITの専門家が入り、クラウド化の支援をしました。

- (1) ITの活用状況やセキュリティ、クラウドについての理解度や業務の流れなど、現状を把握する
- (2) 用途に合わせたクラウドサービスと、それに係るソフトウェアを選定する
- (3) クラウドのアカウント数やアクセス権限の付与をどうするのか、外部からアクセスする場合の認証方法など、団体に合わせたセキュリティを検討・導入する
- (4) 各種サービスを契約・購入及び、クラウドやパソコンなどを設定し、利用方法を説明する

【ポイント】 クラウド化を導入していない団体は、その形で業務が最適化されていて、その流れを互換しつつ、新たなサービスを導入していくのは、何も無い状態から導入するより難しいことが、支援を通してわかってきました。良いと思われる技術導入でも、組織の文化や価値観を尊重しつつ、現実的な範囲で既存の業務を変革させるというバランスが必要になります。

●支援を受けた団体の感想

- ・クラウド化導入の過程で、法人内の部署ごとに、職権によってデータにアクセスする権限を制限するので、それを整理するのが大変でした。
- ・現在は、場所に縛られることなく働けるようになったので、大変助かっています。職員のクラウド化に対する理解促進と、個人情報へのアクセス権に関する教育が、現在の課題です。



●事例②：寄附金を集めたい

【課題】 本部の建設を計画しており、資金の一部を寄附で賄う予定でしたが、集め方に困っていました。また、今まで理事長が1人で担ってきた法人運営業務を、職員に引き継ぐ方法を模索していました。

【支援】 ファンドレイザーが入り、クラウドファンディングのサポートをしました。

- (1) 本部建設のために寄附集めが必要なストーリーをみんなで作る
- (2) 過去の支援者・企業をリストアップする。クラウドファンディング支援のDMを作成し、配布する
- (3) クラウドファンディングのスケジュールや役割を考える。なるべく作業を細分化し、スタッフ主体で進めてもらい、役割を任せることで、自分ごととして関心を持ってもらう
- (4) 今後のファンドレイジングにつなげるため、情報共有用のリストを作り、リストの運用方法を提案する
- (5) 全体を振り返る

【ポイント】 クラウドファンディングの実施を通して、団体のビジョンとミッションを再確認し、自分たちの強み・弱みを整理したことや、多くの関係者を巻き込み、「人ごと」から「自分ごと」にする人を増やしたことが、クラウドファンディングの目標額を達成することにつながりました。職員みんなで準備し、目標を達成することで、団体としての経験や知識を得ることができ、今後にもつながります。

●支援を受けた団体の感想

- ・第3者の視点からアドバイスもらったことで、理事長がすべてを担っている組織体制を見直し、理事長の仕事職員に引き継いでいくきっかけになったことが、すごいと思いました。
- ・クラウドファンディングは職員でチームを組織して行い、自分たちであることにより、自分ごととしての意識を持ち、それまで気が付かなかった職員の新たな力を感じることができました。





特集②

ボランティア入門講座のゲストトークを紹介します！

市民活動推進センターでは、ボランティアの基礎や活動の探し方の講義をはじめ、実際に活動している方の話を聞くことができる、「ボランティア入門講座～ボランティアへのはじめの一歩～」を定期的に開催しています。10月25日(水)に開催した講座の、らくらく日本語教室代表、田中智子さんのゲストトークをまとめました。



ゲストの田中智子さん

■らくらく日本語教室のはじまりと現在の活動

らくらく日本語教室は、2014年4月に外国人の生活を支援するNPO法人の一事業としてスタートしました(現在は、NPO法人から独立し、任意団体)。中国出身のお母さんがいて、地域の小学校から相談を受け、「なんとかしなくっちゃ」というのがはじまりです。中国やブラジル、ベトナム、フィリピンなどがルーツの子どもたちと日本の子どもたちが、一緒に楽しく、遊びも織り交ぜながら勉強していますが、勉強の場というよりは、子どもも大人も、みんながゆるくつながるサードプレイス、みんなの居場所として活動しています。

■らくらく日本語教室に参加した理由

らくらく日本語教室に参加した理由は、中国語の通訳や翻訳のボランティアをしていたので、語学力や日本語教師の資格を生かしたいと思ったこと。以前、日本語学校で非常勤講師をしていたとき、生活の中で生きた言葉でコミュニケーションすることの重要性を感じていたり、子どもの頃、転校が多く、文化的差異がつかかった経験があることも影響しています。そして何より、「楽しそう!」「のびのびやれそう!」だと感じ、最初は、ボランティアの一人として参加しました。



■ボランティアをして得たものとこれからボランティアをはじめ方へのアドバイス

らくらく日本語教室の活動を通して、得た主なものは以下の3つです。

- ①多様な子どもたち・大人たちとの出会いによって、世代・国を超えた仲間ができて、ともに成長するよさを感じている
- ②社会や地域を意識するようになり、多文化共生やまちづくりなどを考えるきっかけになった
- ③地域日本語コーディネーターとしての新たなキャリア・役割ができた。いろいろな可能性が広がる

これからボランティアをはじめられるなら、まずは気になる団体に連絡を取り、気軽に見学してみてください。実際に行ってみると、団体の様子や自分に合うかどうかわかります。

らくらく日本語教室



団地で活動している外国ルーツの子どもたちのためのボランティア教室。毎週木曜日の夕方、初期の日本語学習および宿題などのサポート、進学相談や受験サポートなどを行っている。日本語教師資格、中国語通訳案内士などの資格を持つスタッフに加え、社会人、学生、主婦などのボランティアが勉強相手・遊び相手・話し相手となって子どもに寄り添い、成長を分かち合いながら楽しく活動中。「ゆるくつながる」をモットーに地域団体のイベントなどにも協力している。



9・10月の設立認証NPO法人



名称	所在区	主な活動分野
奏	中川区	学術・文化・芸術・スポーツ
エデン	中区	保健・医療・福祉
とものか	中川区	保健・医療・福祉
食品サークル	瑞穂区	消費者保護



8月末現在の所管法人数

★ 認証法人数：863法人 認定法人数：29法人 特例認定法人数：3法人

センター主催講座・イベントのご案内

1/31 [水] NPO法人設立のしかた編

→ 14:00～16:00 (1月11日受付開始)

「NPO法人ってなに?」「どうやってNPO法人を設立するの?」など、NPO法人の設立前に準備するものや書類作成のポイントを学べる講座です。自分たちでNPO法人を設立しようと考えている方はぜひ!

■定員: 30名 ■参加費: 500円 ■講師: 市民活動推進センター職員

■NPOアドバイザーによるNPOのための専門講座【参加費:1,000円、定員:20名、要申込】

内容	日程	担当アドバイザー
基礎からはじめよう!NPO会計入門講座	2/2 [金] 13:30～15:30	足立 勝彦(税理士)

講座受講のお申込みは、窓口・電話・FAX・電子メールにて受付けます。電子メール・FAXでお申込みの際は、講座名・氏名・電話番号・所属団体・参加動機・名古屋市内での活動の有無をご記入ください。名古屋市内で活動しているまたは活動する意思のある個人・団体を対象とします。詳しくは、当センターのホームページをご覧ください。

■NPOアドバイザーによる個別相談のご案内【参加費:無料、要申込】

内容	日程	担当アドバイザー
会計・税務	1/12 [金] 10:00～, 11:30～	鳥居 翼(税理士)
設立・運営	1/19 [金] 16:00～	織田 元樹(NPO法人ボラみみより情報局)
設立・運営	1/26 [金] 16:00～	織田 元樹(NPO法人ボラみみより情報局)
会計・税務	2/ 2 [金] 16:00～	足立 勝彦(税理士)
会計・税務	2/ 9 [金] 10:00～, 11:30～, 14:00～, 15:30～	橋本 俊也(税理士)
会計・税務	2/14 [水] 10:00～, 11:30～, 14:00～, 15:30～	黒田 朱里(公認会計士・税理士)
設立・運営	2/16 [金] 16:00～	織田 元樹(NPO法人ボラみみより情報局)
設立・運営	2/21 [水] 16:00～	織田 元樹(NPO法人ボラみみより情報局)

【問合せ・申込先】

名古屋市民活動推進センター

電話: 052-228-8039 FAX: 052-228-8073

電子メール: npo@sportsshimin.city.nagoya.lg.jp URL: <https://www.n-vnpo.city.nagoya.jp/>



※専門講座、個別相談は、名古屋市内で活動する(または活動予定のある)NPO・市民活動団体が対象です。

スタッフのつづやき

スタッフ: 早川

あけましておめでとうございます。2024年は、甲辰の年。新しいことを始めて成功する、今まで準備してきたことが形になる、縁起の良い年だそうです。辰は十二支の中で、唯一、空想の生き物というのも魅力的ですよね。以前よりも時間に余裕ができたので、縁起を担ぎ、やりたいと思っていて、できていないことにたくさん挑戦する1年にします!



イラスト協力: 加藤舞美